

アーカイブ & 最新情報はこちらから！

としま未来文化財団 YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@toshimamirai14/videos>
過去の事業の様子等を紹介しています。



YouTube

特設WEBサイト一覧

<https://toshima-pjt.jp/>
過去の特設WEBサイトをご覧ください。



特設WEBサイト一覧

としま未来文化財団 ホームページ

<https://www.toshima-mirai.or.jp/family/?cl=on>
最新情報を発信しています。



ホームページ

としま未来文化財団 公式X

<https://x.com/toshimamirai>
最新情報をポストしています。



公式X

企画・発行：

公益財団法人としま未来文化財団
事業企画課 事業企画グループ

助成：令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



架け橋プロジェクト 2024

実施レポート

公益財団法人としま未来文化財団



こどもとアートの
架け橋プロジェクト
2024

はじめに

本プロジェクトは、創造性を育み子どもたち一人一人の心理的な居場所となる「アート」と「子ども」との架け橋を創出するプロジェクトです。豊島区内の様々な施設を活用し、気軽にアートに触れられる場を提供するほか、子どもたちに向けてダイレクトにアプローチする体験活動を展開しています。

本誌は、2024年度「こどもとアートの架け橋プロジェクト」の取り組みの記録です。多くの方と共有し、次なるステップへの対話を広げていくことができたらと思います。

としま未来文化財団では豊島区が掲げる

「“アート・カルチャー”が日常にあふれるまち」の考えに基づき、

未来を担う若い世代が、文化に触れ、参加・体験できる機会創出のため、

この取り組みを発展させてまいります。

p. 3-4

乳幼児向け芸術ワークショップ
親と子のアートサロン 0.1.2.のおもちゃ箱



p. 5-6

区内児童施設連携事業(子どもスキップ等連携事業)
手影絵パフォーマンス「ハンド・シャドウ・ショー」



p. 7

子ども伝統文化体験事業
こども日本舞踊教室



p. 8

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
概要



p. 9

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
工作ワークショップ「ハット!キャップ大作戦!
~世にもワンダフルなボウシを作ろう!~」
音楽ワークショップ「エイサーを踊ってみよう!」



p. 10

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
おーりとーり!おきなわサマー



p. 11

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
Miracle Xmas Circus HYPER!!



p. 12

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業
Miracle Xmas Circus CHALLENGE!!
Miracle Xmas Circus BABY!!



p. 13

その他の取り組み
招待事業 / 観劇サポート(手話通訳)



p. 14

2024年度の実施を終えて
アーティスト/関係者の声

親と子のアートサロン

0.1.2.のおもちゃ箱

—世界はステキな出会いに溢れている—

▶目的

「世界はステキな出会いに溢れている」を合言葉に0歳からの子どもたちと共にある大人へ、たくさんのお会いの場をつくっていくことを目指しています。音楽・演劇・舞踊・美術などの様々なジャンルのアーティストを迎え、赤ちゃんと一緒に心と空間の中、芸術や子育てについて思いをはせ、語り合える場を提供しています。

▶2024年度の取り組み

乳幼児と保護者が五感をつかって楽しめるプログラムを目指し、今年度は音楽・身体表現の2種を開催しました。1回目は、本事業としては初めてとなる3か月間の長期継続プログラムとして、音楽療法の考え方をベースとした参加者一人一人に寄り添った「おとあそび♪」の世界をお届けしました。2回目はダンサーによるお子さまと保護者が一緒に楽しめるからだあそびを実施しました。親子でからだをたくさん使って心もからだもリラックスできる場となりました。



▶事業概要

親子で楽しむおとあそび♪ひろば

- 日時 2024/6/28(金)、7/12(金)、8/9(金) ※3回で1セット ①10:30~11:10 ②11:40~12:20
- 会場 ぞうしがや こどもステーション
- 対象 ①6か月~1歳半未満のお子さまとその保護者 ②1歳半から3歳未満のお子さまとその保護者
- 人数 ①9組(18名) ②9組(18名)
- 料金 1,000円/組
- 参加アーティスト 野口由衣、鶴飼文代、泉川亜耶



参加者の声

遊び場に行っても人見知りです。いつもフリーズしていたが、他の子どもたちと一緒に過ごすことで、他の人が居ても動き回れるようになった。

1回目に参加した夜に、お名前ソング、おへそはどこだの歌を覚えていて歌っていた。寝る前の遊びになった。

最初から優しく声をかけていただいたおかげで馴染むのも早く、楽しく参加する事が出来ました。普段出会えない楽器と触れ合えたのもとても嬉しかったです。終わってしまうのがさみしいです。ありがとうございました。

▶事業概要

ダンスダン!~からだにあそぼう~

- 日時 2024/10/5(土) ①10:10~10:50 ②11:30~12:10 ③14:00~14:40
- 会場 としま区民センター 6F 小ホール
- 対象 ①②おすわり~はいはい期のお子さまとその保護者 ③たっち期のお子さまとその保護者
- 人数 ①9組(24名) ②7組(19名) ③8組(20名)
- 料金 500円/組
- 参加アーティスト 仁科幸、夕田智恵、西井夕紀子



参加者の声

大人のストレッチタイムがあったり、音楽の生音が心地良くて楽しかったです。

目を閉じるという行為を、こんなにも心地よく感じられたのが久しぶりで、泣きそうになった。寝ている時も常に子どものことを気にしているから、目を閉じていてイイ、と言われると不安ながら徐々に落ち着いた気持ちになれた。

久々にリラックスできました！自分をいたわっていなかったことに気づきました！



- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

▶これまでの「乳幼児向け芸術ワークショップ」の取り組み

- 2018年度 日本児童・青少年演劇団協議会ベビーシアタープロジェクトと3か年計画を立ち上げ、共催にて初開催。
2月 親と子のアートサロン @ぞうしがや こどもステーション
- 2019年度 9・10月 親子であそび!ワークショップ・親子で観よう!ベビーミニシアター @ぞうしがや こどもステーション
2月 親子であそび!ワークショップ・親子で観よう!ベビーシアター @としま区民センター
- 2020年度 10月 青空ワークショップ「ゆつたりのんびりわらべうた」@自由学園明日館
11月 ベビーミニシアター「マ・ブニュンカ!」@自由学園明日館
1月 床の上ワークショップ「ゆつたりのんびりわらべうた」@雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
- 2021年度 1月 ベビーミニシアター「まる」@雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
7月 おとみくくと音の旅-楽器の島をめぐるう!- @としま区民センター
9月 からだのことでおしゃべりしよう!-ゆつたりのんびり親子ワークショップ- @雑司ヶ谷公園 丘の上テラス
- 2022年度 6月 ロバの音楽座「ポロンポロン」@としま区民センター
8月 ベビーシアター-nido @としま区民センター
12月 ハッピー・メリー・プッチ・パーチー @あうるすぽっと
- 2023年度 5月 歌とピアノで感じる絵本 @としま区民センター
10月 my first mural @ターナーギャラリー
12月 注文のない料理店 for Baby @あうるすぽっと



手影絵パフォーマンス 「ハンド・シャドウ・ショー」

▶目的

豊島区内の放課後児童施設と連携し、放課後や学校の長期休暇に文化体験事業を実施。プロのアーティストを学童や学校へ派遣し、子どもたちの創造力とコミュニケーション能力の育成を促すとともに、心豊かに楽しく育まれる文化環境の創出を目指しています。また、家庭環境等により文化芸術体験機会の少ない子どもにも直接的にアプローチし、体験の場を提供する事も重要な要素として位置付けています。

▶2024年度の取り組み

夏休み期間に「劇団かかし座」による手影絵公演を、豊島区内の小学生の放課後の居場所である子どもスキップと連携し実施しました。8施設から応募があり、抽選で選ばれた4施設で開催となりました。手話通訳付きの回は放課後等デイサービスを利用しているろう児を招待しました。(詳細はp.13を参照)



▶事業概要

物語・クイズ・体験コーナーなど、手影絵の魅力を体感できるオムニバス形式のショーを開催しました。本編終了後、スクリーン裏からショーを見学できるバックステージツアーを実施しました。最後に子どもたちはスクリーンをつかって手影絵に挑戦。キャストと直接ふれあうことができる貴重な機会となりました。

■日時・会場・参加人数

- 2024/8/20(火) 14:00~15:00 池袋本町小学校体育館 計118名
- 2024/8/21(水) 14:00~15:00 長崎小学校体育館 計85名
- 2024/8/22(木) 14:00~15:00 目白小学校体育館 計112名 ※手話通訳付き
- 2024/8/23(金) 14:00~15:00 仰高小学校体育館 計91名 ※手話通訳付き

■料金 無料

■参加アーティスト 劇団かかし座

- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
- 連携 豊島区教育委員会事務局 教育部 放課後対策課

※子どもスキップとは、学校施設を活用して、小学生を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開する豊島区の事業・施設

子どもたち

最後の動物が音楽に合わせておどるショーが楽しかったです。最初、手話の拍手を教えてくれてありがとう。

手影絵のクオリティがやばすぎて、心の中で発狂しました。お家の人に教えてあげたいと思いました。お兄さんやお姉さんも優しくて、大満足でした。

手影絵はこんなにすごいんだなと思ってもびっくりしました。手影絵が大好きになっちゃいました。また違う、すごいを見せてください。

職員・スタッフ

日頃触れない音楽と映像にうっとりしました。本物の芸術にふれることは大切だと改めて感じました。行く前は「手影絵って何?おもしろいの?」などと言っていた子どもたちも見入っていたのを見て、行って良かったと思いました。

手の表現だけで色々な動物が作れるのが驚きでした。また息を合わせてやっていることを教わり勉強になりました。

体験までさせてくださりありがとうございました。「あ〜とん」の子どもたちも大喜びで貴重な体験となりました。

参加者・施設担当者の声

▶これまでの「区内児童施設連携事業」の取り組み

- 2017年度** 一般財団法人地域創造と連携したリージョナルシアター事業としてスタート。
9・10月 職員向けワークショップ としま南池袋ミーティングルーム・南池袋小学校PCルーム
9・10月 子どもスキップ朝日・池袋本町・南池袋
- 2018年度** 財団での単独開催となる。
8月 子どもスキップ目白・長崎・仰高・駒込・高松 5か所
- 2019年度** 7月 職員向けワークショップ としま南池袋ミーティングルーム
8月 子どもスキップ清和・巣鴨・西巣鴨・さくら 4か所
- 2020年度** 新型コロナウイルスの影響により、WEB上に「街をつくる「きせかネカードをつくろう!! ~おいでよ みんなのきせかえWEBタウン~」(74作品)を実施。
- 2021年度** 1月 「オリジナルのボールペンをつくろう!」を子どもスキップ朝日にて実施。新型コロナウイルスの影響により、子どもスキップ駒込での実施は延期。
- 2022年度** 5月 「オリジナルのボールペンをつくろう!」子どもスキップ駒込
8月 「ビーだまコロコロ城をつくってあそぼう」子どもスキップ千早・巣鴨・朋有・さくら・富士見台

放課後の小学生を対象とした演劇ワークショップのほか、職員向けワークショップを実施。



2023年度 8月 「逆・逆をおもしろがろう!身体表現ワークショップ[だだだ・だ]」子どもスキップ豊成・清和・西巣鴨・椎名町・南池袋



こども日本舞踊教室

▶目的

日本舞踊のお稽古と舞台発表を通じて、礼儀作法や美しい所作を身に付けるとともに、踊りの楽しさや奥深さを知り、子どもたちの日本伝統文化への理解を深めることを目的としています。

▶2024年度の取り組み

小学1~2年生のチームA、小学3~6年生のチームBの2つに分かれ、11月~2月に日本舞踊のお稽古を8回実施。3ヶ月間の集大成として、2月16日に行われた日本舞踊の公演「華麗なる彩り」にて、お客様の前で稽古の成果を披露しました。

▶事業概要

■日時 お稽古 2024/11/17(日)、12/1(日)
12/8(日)、12/22(日)、2025/1/12(日)
1/19(日)、1/26(日)、2/2(日)

①チームA 9:30~10:30
②チームB 11:00~12:00
下ざらい 2025/2/10(月) 18:00~19:00
舞台稽古 2025/2/11(火祝) 9:45~11:30
本番 2025/2/16(日)

■会場 としま区民センター和室
南大塚地域文化創造館和室、あうるすぽっと
■対象 豊島区在住・在学の小学1年生~6年生
■人数 20名(各チーム10名ずつ)
■料金 3,500円
■講師 としま区日本舞踊家集団

■主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
■助成 令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



参加者・保護者の声

ちがうおどりもおどってみたいです。

ずっとこしを入れたままのしせいや、
ふだんとはちがう動きがありむずかしかった。

日本ぶようをもっとしりたい。

また本番が終わっても家で
れんしゅうしたりおどりたいです。

難しいのではないかと考えていましたが、ユーモアある先生方が楽しそうに
教えてくださったので、子どももとても楽しく通うことができました。(保護者)

お稽古時間もちょうどよく、楽しく覚えることができましたようです。
初めて日本舞踊を習いましたが、次回も参加したいくらい、ハマってしまったようです。
先生方が丁寧に教えて下さり、ところどころでほめて下さったのがとても嬉しかったと言っていました。(保護者)

▶これまでの「子ども伝統文化体験事業」の取り組み

2010年より子どものための日本舞踊ワークショップを開催し、としま区日本舞踊家集団が講師を務め、お稽古の成果を「華麗なる彩り」やワークショップ最終日を発表会とし披露しています。

- 1997年度 区補助金事業(会場提供公演)として「華麗なる彩り」(当財団・豊島区 主催)を開催。
- 2010年度 4~6月、子どもを対象とした日本舞踊ワークショップを実施。
- 2012年度 5~12月にお稽古実施、豊島区制施行80周年を記念し、創作清元「豊島巡名所踊絵」にて披露。
- 2015年度 6~2月にお稽古実施、「さよなら豊島公会堂特別公演 華麗なる彩り」を豊島公会堂にて披露。
- 2016年度 11~3月にお稽古実施、東京芸術劇場プレイハウス「華麗なる彩り」にて披露。
- 2017年度 9~12月にお稽古実施、南大塚ホールにて「華麗なる彩り 小会」にて披露。
- 2018年度 11~3月にお稽古実施、東京芸術劇場プレイハウス「華麗なる彩り」にて披露。
- 2019年度 7~10月にお稽古実施、豊島区立芸術文化劇場のプレオープン公演として「華麗なる彩り」にて披露。
- 2020年度 10~1月にお稽古実施、としま区民センターにて発表会として披露(関係者のみ)。
- 2021年度 11~1月にお稽古実施、南大塚ホール「華麗なる彩り 小会」にて披露。
- 2022年度 11~1月にお稽古実施、としま区民センターにて発表会として披露(関係者のみ)。
- 2023年度 6~8月にお稽古実施、南大塚ホール「華麗なる彩り 小会」にて披露。

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業 概要

▶目的

子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業は、夏は小学生をメインターゲットとして、学校や習い事とは別の場所でアートに出会い体験する場の創出を目的としています。冬は友達同士や親子・家族などが一緒に舞台を楽しむことができる質の高い作品をお届けし、これまで劇場にあまり訪れたことのない人たちに、劇場を身近に感じてもらうことを目的に実施しています。アートの世界に誘ってくれるアーティストや、同世代の仲間たちと一緒に楽しい時間を過ごす中で、「好き」「得意」を見つけ、創造力・表現力・発想力・コミュニケーション力を磨きながら、健やかな身体と感性豊かな心を育ててほしいと願っています。

▶2024年度の取り組み

7月から8月に開催された「としまアート夏まつり」の連携事業として、「ハット!キャップ大作戦!~世にもワンドルなボウシを作ろう~」(写真A)、「エイサーを踊ってみよう!」(写真B)を実施、また、共催事業として「おーりとり!おきなわサマー」(写真C)を開催しました。各事業の詳細はp.9~10をご覧ください。

12月は世界で活躍中のパフォーマンスカンパニーto R mansionによる、奇跡の曲芸とゴージャスな生演奏でお送りする、笑いあり、感動ありのクリスマスサーカスショーを上演。(写真D)子どもから大人、そして障がいのある方も安心して観劇できるよう配慮し、たくさんの方への鑑賞機会となりました。詳細はp.11~12をご覧ください。



■主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
■助成 令和6年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
■ワークショップ「ハット!キャップ大作戦!~世にもワンドルなボウシを作ろう~」:としまアート夏まつり2024 連携事業
音楽ワークショップ「エイサーを踊ってみよう!」:としまアート夏まつり2024 連携事業
おーりとり!おきなわサマー:としまアート夏まつり2024 共催事業

A B C 撮影:山本陸
D 撮影:金子愛帆

▶これまでの「子ども向け芸術ワークショップ&鑑賞事業」の取り組み

- 2014年度~ 豊島区補助事業として、豊島区在住・在学の小学生を対象とした芸術体験プログラムを開始。
- 2018年度 音楽中心の舞台芸術を体験しながら自己表現の方法を学ぶプログラムとして開催。
- 2019年度 「夏休み子どもアートサーカス」として夏休み6日間の体験プログラムに再編。プログラミング、美術、身体表現、伝統芸能、音楽の5ジャンルを実施。(延べ580名参加)
- 2020年度 新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンライン形式で「コマ撮りアニメーション」と「音楽」のワークショップを実施。(延べ187名参加) ミニアニメーション映画を制作しYouTubeで公開。
- 2021年度 オンライン形式で「コマ撮りアニメーション」と「プログラミング」のワークショップ、現地開催で「造形(版画・切り絵)」と「音楽」ワークショップ、コンサートを実施。(延べ275名参加)
- 2022年度 7月から8月に「としまアート夏まつり」の事業の一環として「コマ撮りアニメーション ワorkshop」「カリビアン・ミュージック・コンサート」を実施。12月には「あやしいサーカス団のクリスマス・パーティー」を開催。(延べ700名参加)
- 2023年度 8月に「としまアート夏まつり」の事業の一環として「タッチするとさえざる鳥の基板を作ろう」「はじめてのアフリカン・リズム・セッション」各ワークショップと「アフリカン・ミュージック・コンサート」を実施。12月にto R mansion「注文の多い料理店」の上演、ワークショップを実施。(延べ1,726名参加)

工作ワークショップ 「ハット!キャップ大作戦! ～世にもワンダフルなボウシを作ろう～」



▶事業概要

紙バンドを土台とし、カラフルな色画用紙を貼り重ねて帽子を作る工作ワークショップ。日常生活では“ごみ”になってしまうお菓子の箱なども使いながら、身近な素材で世界にひとつだけのボウシを作りました。最後には「ファッションショー」を開催し、作ったボウシを披露しました。

- 日時 2024/8/10(土)①10:00~12:00 ②13:30~15:30
- 会場 としま区民センター 8F 多目的ホール
- 対象 小学生
- 人数 ①16名 ②16名
- 料金 500円
- 参加アーティスト 工作のアッコ先生(芸林晶子)



参加者・保護者の声

最初はやぶいた紙をいっぱい貼るのが難しかった。でも、かわいくできたのが嬉しかった。また参加したいです。

紙をつけるのが難しく、なかなかできなかったけど、最後はすごいのが出来てワクワクしました。ありがとうございました。

先生が教えてくれたおかげで、想像以上に上手に作る事が出来た。

とても楽しそうに参加している姿を見て、参加させて良かったと思いました。身近にあるもので色々作成できることも改めて実感できました。ありがとうございました!(保護者)

子ども達と先生だけで行えるワークショップがとても良かったです。サポートしてくれる大人が多く、安心できました。(保護者)

本人、楽しかったようで良かったです。ファッションショーが親的にも良かったです。ありがとうございました!(保護者)

音楽ワークショップ 「エイサーを踊ってみよう!」



▶事業概要

沖縄のエイサーで使われる片手太鼓パーランカーを叩きながら、エイサーを体験するワークショップ。創作エイサー隊「炎舞太鼓」の上里好博ほか4名の講師を迎えて実施しました。

- 日時 2024/8/11(日)①10:30~11:30 ②13:00~14:00
- 会場 としま区民センター 8F 多目的ホール
- 対象 小学生
- 人数 ①11名 ②14名
- 料金 500円
- 参加アーティスト 上里好博(創作エイサー隊「炎舞太鼓」)



参加者・保護者の声

最初は少し緊張したけど、慣れるととても楽しく体を動かして、大声も出せて良かったです。もうすぐ沖縄に旅行に行くのでエイサーの祭りを見たいです!

沖縄に2回行ったことがあるんですけど、沖縄に行ったときエイサーが見れなかったから、今日エイサーが見れて良かったです。

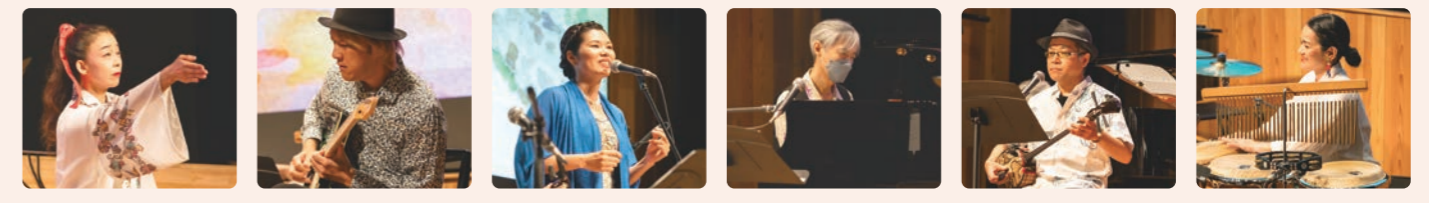
あこがれていた「エイサー」を踊れてうれしかったです。

小学校の運動会でエイサーを経験できていなかったんで、参加できて嬉しそうだった。私自身が沖縄が好きなので、子どもがエイサーに触れられて良かった。(保護者)

子どもたちは初めてエイサーを踊ったのですが、1時間という短い時間で1曲仕上がりてびっくりしました。もっと踊りたいとエイサーに興味を示していました。(保護者)

はじめ、大人は2階で距離があるな...と思いましたが、そのおかげで子どもたちがグッと集中して踊りに取り組んでいて、すてきな濃い1時間でした。予想より難しい内容で、その分やりがいがあったと思います。ダンスが好きなので、また色々なジャンルに挑戦できる機会がありましたら嬉しいです!ありがとうございました。(保護者)

おーりとーり!おきなわサマー



▶事業概要

石垣島出身の宮良牧子を中心に、三線、パーカッション、ピアノ、チェロ・ギターという編成の特別バンドで、耳なじみ深い沖縄の歌や手遊びやコールアンドレスポンスなどで参加できるようなプログラムをお届けしました。舞台のサイネージには沖縄で活動するイラストレーター・上間実の描き下ろしイラストを投影し、沖縄や八重山の文化や自然を水彩タッチで描いたやわらかなイラストにより、「癒しの沖縄音楽」というテーマに合う世界観を演出しました。

- 日時 2024/8/12(月祝)①11:30~12:30 ②14:30~15:30
- 会場 としま区民センター 8F 多目的ホール
- 人数 316名(①174名 ②142名)
- 出演 宮良牧子(歌、三線)、黒木千波留(ピアノ)
伊藤ハルトシ(チェロ、ギター)、元田優香(パーカッション)
タケシ(三線)、Mika(踊り)
- 料金 大人1,500円、子ども(3歳から中学生) 500円
- 全席自由
- ステージイラストレーション 上間実
- 曲目 花~すべての人の心に花を、安里屋ゆんた
赤田首里殿内、サンゴぬファーの物語
島人ぬ宝、豊年音頭~唐船ドリー ほか
- 対象 3歳以上(未就学児入場可)



参加者・保護者の声

踊りの動きが柔らかくてステキでした!そして三線という楽器を知りました。沖縄の歌は普段聞かないのでこんな感じなんだな、というのが知れました。

子どもが参加できるのはとても良い。親にとっても良い気分転換になると思う。沖縄の海や風景が目に見えただけでも良かった。スクリーンの絵が水彩で、夏の沖縄らしくて美しかった。

大人にはあつという間でした。4才の息子、「島人ぬ宝」と聞いて、「何か泣きそうな歌だね」と言っていました。最後の歌、みんなで踊って楽しめました。娘は、映像のイラストに興味ありそうでした。子どもと一緒に沖縄を楽しませてもらいました。

沖縄、石垣島へ行ってみたいくなりました。とても楽しい時間でした、ありがとうございました。三線とチェロ、パーカッション、良かった。舞台後ろのスクリーンの絵がとてもとてもよかったです。

昨日のワークショップ「エイサーを踊ろう」にも参加させて頂きました。家族での沖縄旅行の前に沖縄文化に触れる事が出来てとても良かったです。昨日、娘が踊っていた「島人ぬ宝」も聴けて良かったです!🌟

本日は素晴らしいコンサートをありがとうございました。心温まる演奏、歌声、舞に大変癒されました。美しいお声と背景の色鮮やかな画がマッチして、情緒あふれる素敵な心地よい空間、ひと時でした。幸せな時間をありがとうございました。来年も是非!お願いします。

Miracle Xmas Circus HYPER!!



▶事業概要

アクロバティックなパフォーマンスと、ゴージャスな生演奏で贈るクリスマス・サーカス・ショー。ホワイエのサーカステントをイメージした飾りつけ、出演者による開場中のウェルカム・パフォーマンスが会場全体の雰囲気を盛り上げました。笑顔溢れるクリスマスにぴったりのオリジナル公演となりました。

- 日時 2024/12/20(金)①19:30
2024/12/21(土)②12:00★ ③18:00 ★チャイルドシアター回
2024/12/22(日)④11:00★ ⑤16:00 (2歳以下入場可)
- 対象 3歳以上
- 会場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
- 人数 計1,255名
- 料金 一般2,500円、豊島区民割2,000円、18歳以下1,000円、障害者割1,000円
- 【パフォーマー】to R mansion、江戸川じゅん兵、叶結(KanauKnot)、吉川健斗、Coppelia Circus、植本純米
【ミュージシャン】イーガル(ピアノ)、こみてつ(チェロ)、油井ジョージ(ドラム)、Ruppa(サクソ)
- 【演出】堀京太郎(トランペット)
- 【演出】スカンクスバンク 【音楽監督】イーガル
■【舞台監督】橋本加奈子(スマイルステージ) 【照明】國吉博文、大津裕美子
■【演出部】神永結花 【音響】佐藤こうじ、たなかさき(Sugar Sound)
■【協力】浅井裕子、山田貴大 【衣装】西川千明



参加者の声

入口ロビーの飾り付けからも期待が高まり、中に入るともう出演者が迎えてくれる、特別な時間の始まり。小さな子どもたちにも分かりやすい案内。暗転のリハーサル。そして物語には息をのむ様なサーカスパフォーマンスが次々と繰り出され、達者な音楽家族がより雰囲気を盛り上げてくれて最高に楽しい時間でした。出演者、スタッフ、皆様、お疲れ様でした!!素敵な時間をありがとうございました♡

素晴らしかったです!開演前からロビーでのパフォーマンスにワクワクし、本編は五感への刺激と想像力をかきたてる見事な内容。生演奏も迫力がありました。娘はキラキラした目で見ていました。こんな夢のある舞台を多くの子どもたちに見てもらいたかったです。

生歌、生演奏、綱渡りにポールダンスに玉乗りに盛りだくさんでとっってもハイパーでミラクルな公演!めっちゃ楽しかったです!

始まりから終わりまで、ずっと楽しい幸せな時間でした。1人で来たのですが、思い出に残る最高な時となりました!本当に夢みたいな時間をありがとうございました!また観に行きます☆多ハイパー!

音楽も生演奏も素晴らしく、サーカスもどんな感じなんだろうと思ってましたが、見事で、子どもも大人も楽しめました!4歳の子は終盤やや集中力が切れてましたが、あとで聞いたら、とても楽しかったと言っていました。家族で良いクリスマスが過ごせました。今回を機に、また他の公演も見に行ってみたく思います。どうもありがとうございました!!

Miracle Xmas Circus CHALLENGE!!

▶事業概要

「Miracle Xmas Circus HYPER!!」の関連企画として劇場ホワイエで小学生向けのサーカス体験ワークショップを開催。ラート、玉乗り、ジャグリング、バントマイムに挑戦しました。本公演の開場前にハイパーな時間となりました。

- 日時 2024/12/21(土)①16:30~17:15
2024/12/22(日)②14:30~15:15
- 会場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)ホワイエ
- 対象 小学生(保護者1名まで一緒に体験可)
- 人数 ①39名 ②40名
- 料金 1,000円
- 参加アーティスト to R mansion、江戸川じゅん兵、叶結(KanauKnot)、吉川健斗



参加者・保護者の声

いつもはできないことが4つもできて良かった。サーカス体験をしてくれるキャストさん達がやさしくてうれしかったです。次のイベントも参加して、もっと次は思いっきりしようと思いました。

ラートを初めてできて良かったです。(ラート買う予定)サーカスアーティストになりたい!

本格的な道具を使って子どもでも出来るような内容の体験が出来て、貴重な経験となりました。同じ道具を使ったプロの方の演技をこの後の舞台で見られるので、楽しみが倍になりました。大人にとっても勉強になりました。(保護者)

サーカスは観るだけでも楽しくて夢があるけれど、一緒に体験できる企画はとて嬉しかったです!子ども達のキラキラする笑顔を見て幸せです。(保護者)

小学校でフライヤーを頂き、去年とても楽しかったので参加しました。舞台前の体験があるとより本人も、この後の時間をより充実して過ごせるように感じます。演者の皆様、舞台前の素敵な時間をありがとうございます。この後も楽しみです。今年も観て嬉しいです!(保護者)

Miracle Xmas Circus BABY!!

▶事業概要

「Miracle Xmas Circus HYPER!!」のベビーシアター版を劇場ホワイエにて開催。クリスマスの夜のような素敵な空間で、目の前で繰り広げられる歌や踊りを体験できる贅沢な時間となりました。参加者たちもとてもリラックスした様子で楽しんでいました。

- 日時 2024/12/23(月)①10:30~11:45 ②13:00~13:45
- 会場 あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)ホワイエ
- 対象 首すわり期~15か月のお子様とその保護者
- 人数 ①18名 ②26名
- 料金 2,000円/組
- 参加アーティスト to R mansion、江戸川じゅん兵、叶結(KanauKnot)、吉川健斗、Coppelia Circus、植本純米、イーガル、こみてつ



参加者の声

非日常の空間に娘はどんな反応をするだろうかと、少しの心配をしながら参加しましたが細かなご配慮のおかげで、ずっと娘が楽しむ姿勢になったことにまず感動しました。気付けば、どっぴりと違う世界が始まっていましたが、とても自然でとても心地良い世界でした。娘は何度も笑顔を見せてくれたながら、右を見たり左を見たり上を見たり、目の前に来る楽しい出来事に手を伸ばしてみたり、こんなにも楽しそうな娘の姿に終始感動しました。そして親である私自身もとても楽しませていただきました。赤ちゃん連れでも気を遣わずとても心地良く楽しめるエンターテインメントの存在にただただ驚きと感動で胸がいっぱいになりました。

今年様々な子ども向けイベントの中で一番楽しかったです!プロのパフォーマーさんたちによる様々な表現をこんなに近くで子どもに見せてあげることができて、親としてもとても満足です。楽器、うた、ダンス、色、表情、動き。多彩でとても良かったです。すっかりファンになりました。また必ず観に行きます!!

入った瞬間に空間デザインに感動し、思わず親がはいしゃいしてしまいました。あまりにも自由な息子が場内で動き回るのを、パフォーマーの皆さんが沢山気にかけてくださり、本当にありがたかったです。普段はつい息子の動きを制限してしまうのですが、今日は素敵な空間でやりたい放題させていただけだったので、とても良い刺激になったと思います。

招待事業 / 観劇サポート(手話通訳)

▶目的

本事業は、国籍、障害の有無、経済状況などにかかわらず誰もが文化的体験を得られる機会を提供し、文化芸術を通して生み出される居場所や、新たな価値観、創造性を育むことを目的としています。

▶2024年度の取り組み

今年度は、子ども向け公演への招待のほか、「区内児童施設連携事業」と協働しアウトリーチ公演において手話通訳を実施。放課後等デイサービスを利用しているろう児をアウトリーチ公演に招待しました。本事業を通じて、多くの人々が文化芸術に出会う機会を創出し、価値観の多様性を知り豊かな生き方や考え方のヒントを得るきっかけになればと思っています。

▶事業概要

招待事業

- 日時・招待公演名
 - 2024/8/12(月祝) おーりとーり!おきなわサマー
 - 2024/8/22(木) 手影絵パフォーマンス「ハンド・シャドウ・ショー」※手話通訳付き
 - 2024/8/23(金) 手影絵パフォーマンス「ハンド・シャドウ・ショー」※手話通訳付き
 - 2024/12/20(金) Miracle Xmas Circus HYPERR!!
- 参加人数 50名
- 連携 認定NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、一般社団法人ありがとうの種

観劇サポート(手話通訳) ※写真 A B C

- 日時・公演名
 - 2024/8/22(木) 手影絵パフォーマンス「ハンド・シャドウ・ショー」※手話通訳付き
 - 2024/8/23(金) 手影絵パフォーマンス「ハンド・シャドウ・ショー」※手話通訳付き
- 手話通訳コーディネーター 特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 廣川麻子
- 手話通訳 河合祐三子(ろう通訳)、吉田亜紀(フィーター)
- 連携 一般社団法人ありがとうの種
- 主催 公益財団法人としま未来文化財団・豊島区
- 助成 令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



施設の方々を含めた関係者の皆様との事前打ち合わせに加え、本番前には出演者・手話通訳者・手話コーディネーターで綿密なりハーサルを行いました。



公演の導入部分では、普段手話に触れる機会が少ない子どもたちにも手話について興味をもってもらう。手話についての説明や、「拍手」の手話を紹介するコーナーを設けました。



リハーサルを通して、出演者と手話通訳者の立ち位置、演出と情報保障の兼ね合い、通訳のタイミングをしっかりと確認することで、本番でもスムーズに上演することができました。

手話でいきる子どものあ〜とん塾 児童指導員 石川さと

今回は、シアター・アクセシビリティ・ネットワークの方にもご協力いただき、下見や打ち合わせ、準備を何度も重ね、ろう児たちが影絵の世界観を楽しめるよう準備していただきました。当日は、まず影絵の内容を耳の聞こえる通訳者「フィーター」が手話にし、「ろうの手話通訳者」がフィーターの手話を見てよりわかりやすい手話にいただいたことで、影絵そのものを楽しめました。

私たち手話で生きる人たちが壁を感じることなく、平等に楽しめる方法を一緒に考えてくださったことに感謝しています。是非とも次年度以降にろう児が楽しめる舞台が増えることを願っています。

施設担当者の声

▶これまでの取り組み

- 2018年度 豊島区内の子ども食堂・無料学習支援団体等との連携により、出張ミニコンサート「みんなの音楽」の開催、鑑賞事業への招待をスタート。10月「椎名町子ども食堂ミニコンサート～口笛とピアノで奏でるハーモニー～」@椎名町子ども食堂 金剛院 蓮華堂 12月「クリスマス ミニコンサート～あたたかで華やかな5色の金管楽器の響き～」@中高生ジャンプ東池袋 ホール
- 2019年度 通年 鑑賞公演招待(14公演・120名参加)
- 2020年度 新型コロナウイルスの影響により「アートキット」の配布(250セット)、アーティストとのコラボレーション作品制作、記念品(エコバック)制作、展示(9か所)を実施。
- 2021年度 「アートキット」の配布(300セット)のほか、放課後児童施設にてキットを使用したワークショップを実施。アーティストとのコラボレーション作品を制作。記念品としてコラボレーション作品のカレンダーをプレゼント。
- 2022年度 「子どもたち×アーティスト丸シールアート」作品巡回展示(6か所)を開催。鑑賞公演への招待を実施(4公演・50名参加)。
- 2023年度 鑑賞公演への招待を実施(5公演・130名参加)。

2024年度の実施を終えて

アーティスト / 関係者の声



親子のアートサロン 0.1.2のおもちゃ箱 「親子で楽しむ おとあそび」ひろば 野口由衣さん

皆さんと素敵な時間を過ごせたこと、本当に嬉しく思います!大切にしたいのは子どもたちの「安心して楽しむ心と体の準備をすること」「主体性を大切に、受け入れられる体験をすること」です。まず大人がリラックスし、プログラムは「同じ活動、流れで繰り返す」ことで、物事の予測が立ち子どもたちは安心して自己表現ができます。毎回行った手遊びは、寝る前の遊びとして取り入れてくれたご家庭もあったようです。また子どもたちの名前をいれた歌でお互いに呼びあう、一人ひとり違う表現の音に「すてき!」「その音もいいね」と受け入れあう等、「褒めてもらえた」「表現を受け入れてもらえた」みんなの表情は本当にキラキラしていました。3回を通して成長は様々。お友達への興味を持ち始めた子、自分のペースで少しずつ楽器に触れた子、お互いのお子さんの表現を笑顔で受け入れあい、親御さん同士で交流する等、継続だからこそ生まれたとても和やかな空間でした。「おとあそび」は音楽療法の考え方をベースとしています。今後も障害の有無に関わらず、様々な発達特性を受け入れあい、音楽で寄り添い成長していく場として、子どもたちはのびのびと音楽を楽しんでほしいと願っています。



手影絵パフォーマンス「ハンド・シャドウ・ショー」劇団かかし座 伊藤篤志さん

今回の公演では、もっとたくさんの方に楽しんでもらえるように、手話通訳の方にも協力していただきました。初めての試みだったので、新鮮さと少しの緊張が入り混じったスタートでしたが、手話通訳を担当してくださった河合さんがとてもチャーム!手影絵のショーは独特で通訳のタイミングが難しかったと思いますが、打合せから親身に対応してくださったおかげで、心に残る素敵な公演になりました。公演後にはバックステージツアーも開催!子どもたちに実際に手影絵を体験してもらいました。動物の作り方を教えると、みんな真剣な表情で挑戦!完成した瞬間に見せてくれた輝く笑顔や「できた!」っていう表情が本当に印象的で、思わずこちらも笑顔になってしまいました。そこには、言葉や音に頼るだけでなく、みんなで共有できる楽しさが広がっていたように感じます。今回の経験を通して、影絵が持つ可能性の大きさを改めて実感しました。これからも、影絵を通じてたくさんの方にワクワクする体験や感動を届けていきたいと思っています!



こども日本舞踊教室 林千弥鼓さん

「日本舞踊はつまらない」「年寄りくさい」そんな声を聞きます。それは、面白い魅力的な踊りを観たことがないから、どれだけエネルギーが必要な踊りかご存知ないからだと思うのです。今年度も、有難いことに多数応募して下さった中から、抽選で参加資格を得た子供達と稽古を重ね、あうるすぽっとの舞台上で晴れやかに本番を迎えました。聴き慣れない邦楽の音楽に合わせて、普段運動してかく汗と違う、体幹を使ったじんわりくる汗を体感して、子供達がどんどのめり込んでくれている様子を、嬉しく感じながら指導させていただきました。実際、低学年の子供達が高学年の振りを真似して踊っていたり、本番後もまだ踊っている子達の姿は、感動的でした。お母様お父様の着付けの腕がどんどん上がっていくのも、思いがけない喜びでした。伝統芸能は敷居が高いものではなく、自分達の素敵な文化なんだということをもっと知っていただきたいと切に願っています。



おーりとーり!おきなわサマー 宮良牧子さん

子供たちの笑い声や泣き声、お囃子に包まれながら、上間実さんの素晴らしいアートをバックに音楽を奏でる機会をいただけたことに感謝いたします。子供たちに沖縄の芸能や文化に触れてもらう良い機会となるよう「琉球舞踊」を取り入れた楽曲や「手遊び」の入った童唄、参加型の「お囃子」が入った民謡やポップスなど、選曲に工夫を凝らしました。また、飽きることなく楽しんでもらえるよう、緩急をつけた構成を意識しました。沖縄音楽がテーマではあるものの、本物の楽器や演奏に触れてほしいという思いもあり、一流のミュージシャンの皆さんにも協力いただきました。琉球舞踊や三線に加え、ピアノ、チェロ、ギター、パーカッションなど、多彩な楽器の音色が響き合い、子供たちもその豊かさを感じ取ってくれていたのではないかと思います。演奏中、子供たちは手を叩いたり、一緒に歌ったり、時には驚いた表情を見せたりと、さまざまな反応を見せてくれました。その姿がとても印象的で、私たちにとても忘れられない時間となりました。沖縄音楽や芸能の楽しさが、子供たちの心に残る思い出となりますように。そしてまた、どこかで一緒に音楽を楽しめる日を心待ちにしています!



Miracle Xmas Circus スカンクスバンド(演出ユニット)

バンドの生演奏に心躍らせ、サーカスで奇跡を体感し、暖かい物語に包み込まれる、大人も子どもも、豊かな複合芸術をリラックスして楽しんでいただけるミラクルでハイパーなクリスマスサーカス!サンタクロースは、子ども達の信じる心と共に存在する人物。「信じる心があれば、素敵な奇跡をうみだす」「誰だって、大切な人の願いを叶えるサンタクロースになれる」そんなメッセージをロビー、劇場全部に星空のようにキラキラ散りばめた作品になりました。財団との連携もバッチリなクリスマス公演、ありがとうございました!



観劇サポート(手話通訳) NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 廣川麻子さん

学校にパフォーマンスショーがやってくる!子どもにとって、こんなワクワクするイベントはありません。ですが、かつて子どもだった私は、残念ながらそうではありませんでした。楽しそうだけど何を言っているかわからず、ひとり寂しく過ごす時間だったからです。しかし今回の「手影絵」は音声をほとんど使わず、視覚的な表現がメインということで、手話を導入しやすい機会となりました。ろう俳優であり、子どもと接する経験が豊富な河合祐三子さんが手話を担当することで、子どもたちにより伝わりやすくなりました。パフォーマンスと息を合わせ、声と手話が一体となって展開しました。河合さんは「アイコンタクトを積極的に取るなど、ろう者と聴者が協力合っている姿をろうの子供達だけでなく聞こえる子ども達にも見せたことで、工夫すれば一緒にできるんだ、ということを知ってもらえたのが嬉しい」と述べています。事前に現地視察、他の公演を見学してリハーサルを重ねるなど、丁寧に時間をとっていただいたことで、より良い表現を検討することができました。ありがとうございました。今後も鑑賞の機会をろうの子供達に届けるお手伝いができたら幸いです。